

ふくろうの会通信

東野幌小学校PTA

NO. 2

H30.5.8

文責 ふくろうの会

会長 長谷川 伸

校長 高橋 秀明

見まもりボランティアの方からのメッセージ

東野幌小学校では、子どもたちが通う登校・下校時に交通事故の防止、不審者被害を防ぐために多くのボランティアの方々が見まもり活動を展開して頂いています。この取組は、自治会で地域の子どもたちを、事故などから守るために行われている見まもり活動とは完全に独立した取組で、もちろん学校から委託している活動でもありません。完全なる個人のボランティアによる活動になります。

殆どの方が十数年以上も続けられている人たちばかりですが、見まもりをやっている時は、暖かくやりやすい日ばかりではなく、雨の日や、風の強い日、冬場のしばれるような日もあり、こういった活動を長年にわたって続けることは、なかなかできないものです。

私たちは、そんな中で続けて下さっているボランティアの人たちに対して、感謝の気持ちを大切に行かなければなりません。

今回、児童のみなさんに対して、ボランティア代表の方々から、全校児童のみなさんに対してメッセージが届けられましたので、紹介していきたいと思います。児童の言葉に元気をもらっているとの「優しい言葉」や、事故にあわないように気をつけて欲しいことなどについて、書かれていますが、是非しっかりと受け止めて欲しいと思っています。

見守りボランティア 渡邊 みどりさんからのメッセージ

明るく楽しそうに、友だちと登校してくる姿を目にして嬉しくなります。

お友達4、5人で横列で歩いて、話に夢中になってしまうと、後ろからの車に気づいていないことが多く見られます。

自分の命、友だちの命はとても大切なものなので、登校時は広がらないように右側を歩く意識を大切にして下さい。



見守りボランティア 齊藤 直治さんからのメッセージ

だんだん暖かくなると、身も心も軽くなります。お友達とかけっこをしながら交差点に入ってくる子をたまに見かけます。

大切な命を守ることを意識して、必ず一旦停止で身を守れるようにしていきましょう。

見守りボランティア 喜多 馨さんからのメッセージ

毎日の通学で、特に気をつけて欲しいことは、必ず歩道を歩くこと。絶対に車道には飛び出さないようにして下さい。下校時間の午後2時頃の事故が増えています。帰りには見まもりの方も少ないので、一人ひとりが気をつけて、下校することが大切です。



CS安全担当者会議の開催について

例年、CS安全担当者会議にて、ふくろうの日の立哨指導における役割分担を決定します。月当番と立哨場所の希望を確認する会議になりますので、各学級で決定した担当者の方の参加をよろしくお願いいたします。

会議の詳細に関しては、後日配布されるPTA便りで、ご案内されると思いますが、下記に簡単な内容等に関して記載いたしますので、ご確認をお願いいたします。

1	日 時	平成30年5月25日（金）	18:00～
2	場 所	東野幌小学校	大会議室
3	内 容	今年度の活動に関する確認について	
		・年間活動計画について	
		・月別当番の確認について	
		・立哨指導場所の希望調整について	
		・その他	

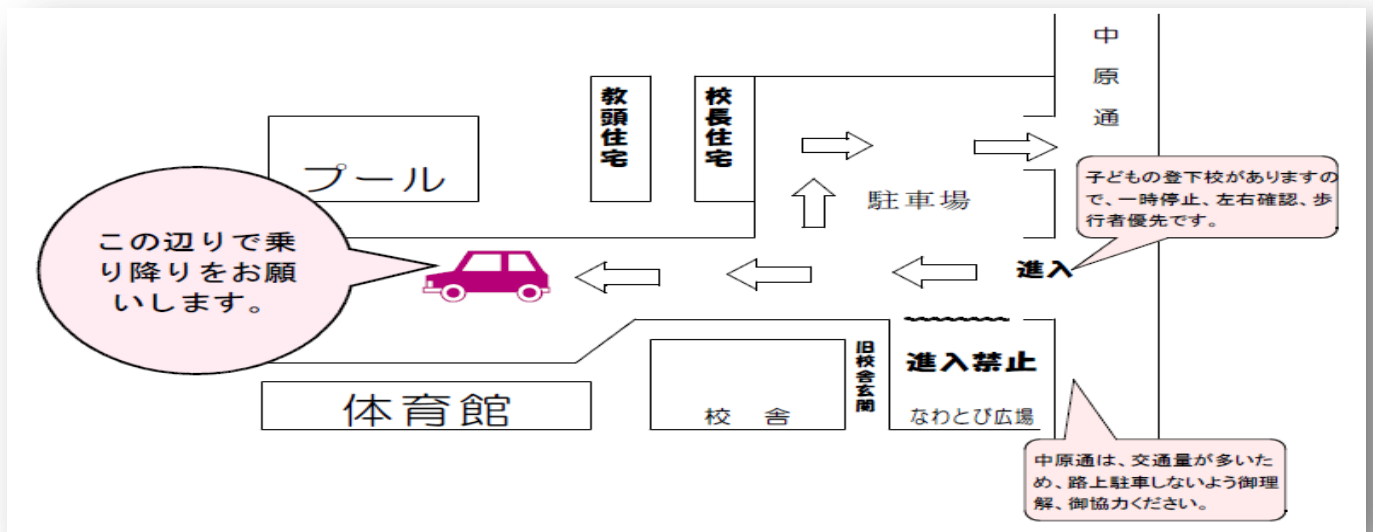


車による送り迎えの確認について

例年、登校時・下校時の車による送迎に関して、事故防止のため車での送迎の仕方についてお願いをしているところでした。下記の図は、駐車場の利用方法についてお知らせしたものになりますが、図のように必ず学校敷地内に入って、体育館前で乗車・下車をさせていただきたいと思っております。

路上での駐車による送迎については、後続車の妨げになるのと、乗車前と下車後の子どもの安全を確保するため禁止事項となっています。今年度に入って雨天時の送迎で、路上で乗り降りが非常に多く見られました。事故防止のためにもご協力をよろしくお願いいたします。

また、**新校舎の生徒玄関への車の送迎、及び進入**に関しては、**許可されている車のみ**（つくし学級で、送迎が必要とされている車）、通ることができますがそれ以外の車については、**一切進入禁止**となっていますので、ご確認をよろしくお願いいたします。



今月27日は、安全指導強調日のふくろうの日です。今年度の見守り体制はまだできていませんが、各地区にて可能な限りの見守り活動をよろしくお願いいたします。

ブログにて、東野幌小学校の日常的な活動の様子を発信していますので、是非ご覧ください
ブログのアドレス → <http://blog.webone.ne.jp/higasinos>



平成 13 年に学校でも、子どもたちを見まもるために有志による見守り隊として、「ふくろうの会」が立ち上げられ、平成 19 年には、その活動が認められ、文部科学大臣賞を受賞するほど、活動が盛んにおこなわれていました。その後、組織の改編（PTA 活動：委員会形式→CS 制形式）による有志の活動から全会員による活動への変更（CS 安全担当による分担制）、